clarion

取扱説明書

CZ215

USBスロット搭載
CD/MP3/WMAレシーバー

このたびはクラリオン製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）はお買い上げの販売店で記入いたしますので、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をご確認のうえ、大切に保管ください。

目　次

はじめに

主な特長 …… 3
ご使用の前に …… 4
取扱上のご注意 …… 6

本機の操作

各部の名称とはたらき …… 8
基本の操作 …… 14
オーディオの設定をおこなう …… 17
システム設定をおこなう（アジャストモード） …… 20
ラジオを聴く …… 23
CD/MP3/WMA を聴く …… 25

外部機器の操作

USB 機器のオーディオファイルを聴く …… 30
iPod を操作する …… 33
ポータブルオーディオ（AUX） …… 36

その他

故障かな？と思ったら …… 37
仕　様 …… 40
アフターサービスについて …… 42

取付説明

主な特長



■iPod®/iPhone® 連携を実現するフロント USB 端子と外部入力機能（AUX 入力）

■サブウーファーコントロール付き 4ch RCA 音声出力端子

■クラリオン独自の音響補正技術 “Intelligent Tune” 搭載

※“Made for iPod,” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
iPhone, iPod and iTunes are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

※iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この『**取扱説明書**』の表示では、製品を安全に正しくご使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注 意

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	⚠記号は警告･注意を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

- ●安全のため、ご使用の前に『**取扱説明書**』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ●お読みになったあとは、いつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

■使用上のご注意

⚠警 告

●運転者は走行中に操作をしない…
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

●本機を分解したり、改造しない…
事故や火災、感電の原因となります。

●ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

●ディスク挿入口や機器内部に水や異物を入れない…
火災や感電の原因となります。

⚠警 告

●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口に相談する…
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。同じ規格の同じ容量のものと交換してください。

⚠注 意

●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

●ディスク挿入口に手や指を入れない…
けがの原因となることがあります。

●本機を車載用以外には使用しない…
感電やけがの原因となることがあります。

●電源を切るときは、音量を最小にする…
電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

●音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しない…
火災の原因となることがあります。

●本機の取付場所変更は、安全のため必ずお買い上げの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…
専門技術と経験が必要です。

取扱上のご注意

ご確認事項

- COMPACT disc DIGITAL AUDIO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT マークのついた CD をご使用ください。
- また、シースルーディスク（半透明 CD）、ハート形や八角形など、特殊形状の CD はご使用しないでください。取り出せなくなる場合があります。
- CD-R/RW で記録されたディスクでもご使用できない場合があります。
- CD-ROM は、本機ではご使用できません。
- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、ディスクや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。ディスクが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1 時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。
- 本機は USB1.1/2.0 互換で、MP3/WMA フォーマットのファイルが再生できます。
- 本機の USB スロットに接続をして再生できる USB 機器は、「**USB マスストレージクラス**」として認識されることが条件となりますが、すべての USB 機器の動作を保証するものではありません。
- 2 つ以上のドライブで構成されている USB 機器は、どちらか一方のドライブのみを認識します。
- セキュリティー機能の付いた USB 機器は再生できません。
- 使用する USB 機器が「**USB マスストレージクラス**」に準拠しているかは、販売メーカーにお問い合わせください。
- iTunes® Music Store で購入した楽曲や著作権保護されたファイルを CD-R や USB へコピーしての再生はできません。

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に付けて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



- 樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障することがあります。
- 自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげたりする原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

- 本機のディスプレイ部（アクリル部品）の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。
- 直射日光などの関係により、製品に光が反射する恐れがあります。運転の際は十分ご注意ください。

表示画面について

- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

●液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

●本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「**エラー表示について**」の項目（39 ページ）を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

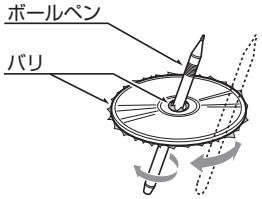
CD の再生について

●本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
●ディスクを再生中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。
●ディスクをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

CD について

■取扱上のご注意

●CD-R,CD-RW は、通常の音楽 CD に比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。
●各種コピーコントロール CD は、CD 規格に合致しない特殊ディスクであり、弊社としては CD 再生機器における再生保証は致しかねます。万一、このような特殊ディスクの再生に支障がある場合には、CD の発売元にお問い合わせください。
●記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れなどを付けないように扱ってください。
●レーベル面（印刷面）や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
●セロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があったりする CD は使用しないでください。そのまま CD プレーヤーに入れると、CD が取り出せなくなり、故障の原因となります。
●新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■CD の保管時のご注意

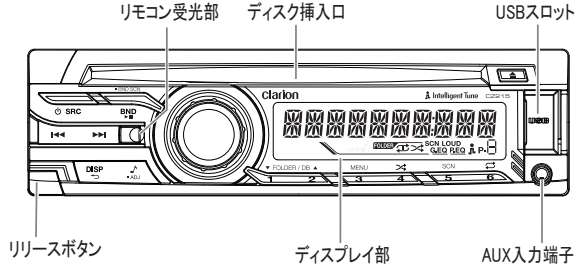
次のような場所には保管しないでください。
●直射日光の当たる場所
●湿気やほこりの多い場所
●暖房の熱が直接当たる場所

■CD のお手入れ

●ディスクが汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
●レコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

本体部



[⏻ SRC] 電源/ソースボタン



- 電源を入れ、各モードに切り替えます。
- 電源を切るときは押し続けます。（約1秒間）

[BND] バンドボタン

- ラジオモード時は、バンドを切り替えます。押し続けて（約1秒間）、受信感度の良い放送局を周波数順に受信します。
- CD/MP3/WMA/USB/iPodモード時に、再生または一時停止をします。

[⏮],[⏭] サーチボタン



- ラジオモード時の選局に使います。
- ディスク、USB機器、iPod使用時は選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。
- 各種設定時に項目を選択します。



[⏏] イジェクトボタン

- CDが入っているときに押すと、CDがイジェクトされます。

[DISP] ディスプレイボタン



- ディスプレイ表示を切り替えます。

[♪] サウンドボタン

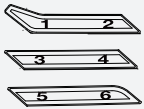
- オーディオの各種調整をします。
- 押し続けて（約1秒間）、調整モードになります。（アジャストモード）。

[ROTARY] ロータリーノブ



- 音量を調節します。
- アジャストモード時の各種設定に使用します。
- 各種設定の決定をします。

[DIRECT] ダイレクトボタン



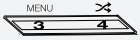
- ラジオモード時に、登録した放送局を呼び出します。押し続けて（約2秒間）、ダイレクトボタンに放送局をメモリーします。

[FOLDER▼],[FOLDER▲] アップダウンボタン



- MP3/WMA/USBモード時、フォルダを切り替えます。
- iPodモード時、DBを切り替えます。

[MENU] メニューボタン



- MP3/WMA/USBモード時、フォルダサーチモードに切り替えます。
- iPodモード時、iPodのメニューからカテゴリーを選択できます。
  押し続けて（約2秒間）、トップメニューに戻ります。

[⤮] ランダムボタン

- CD/MP3/WMA/USB/iPodモード時、ランダム再生をします。

[SCN] スキャンボタン



- CD/MP3/WMA/USBモード時、約10秒間ずつスキャン再生をします。

[⟲] リピートボタン

- CD/MP3/WMA/USB/iPodモード時、繰り返し再生をします。
- トラックリピート、フォルダリピートオフを切り替えます。

モード別ディスプレイ表示

■各モード共通の表示



グラフィックEQ機能
ON時に点灯

ラウドネス機能
ON時に点灯

インテリジェント
チューン機能ON
時に点灯

パラメトリックEQ
機能ON時に点灯

タイトル表示部

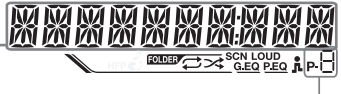
・モード表示（モード切換時に約2秒間表示します。）

TUNER ：ラジオモード
DISC ：CD/MP3/WMAモード
USB ：USBモード
IPOD ：iPodモード
AUX ：AUXモード

・時計表示（ディスプレイボタン押し時）

・タイトル表示
受信中の周波数やMP3/WMAファイルのタイトルなどを表示します。
詳しくは、各モードの表示をご覧ください。

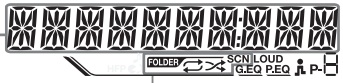
■ラジオモード時の表示



FM1 79.5 ： FMバンド名と受信周波数
AM1 954 ： AMバンド名と受信周波数

プリセットNo.（1～6）
インジケーター

■CD/MP3/WMAモード、USBモード時の表示



• メイン表示

(音楽CD再生時)
トラック番号/再生時間表示（分、秒）

(MP3/WMAディスク/USB再生時)
フォルダ番号/トラック番号/
再生時間表示（分、秒）

FOLDER ：フォルダリピート/フォルダランダム演奏のときに点灯
SCN ：スキャン演奏のときに点灯
🔁 ：リピート演奏のときに点灯
🔀 ：ランダム演奏のときに点灯

• タイトル表示

(音楽CD再生時)
ディスク名/トラック名/アーティスト名/アルバム名
(MP3/WMAディスク/USB再生時)
フォルダ名/ファイル名/トラック名/アーティスト名/アルバム名

• 選曲切換時に表示 (約2秒間)

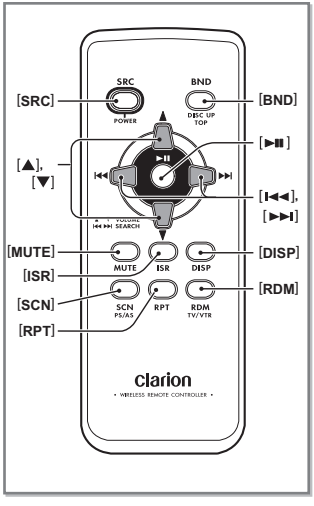
(音楽CD再生時)
SCAN ALL ：スキャン演奏選択時
SCAN OFF ：スキャン演奏キャンセル時
RPT ONE ：一曲リピート演奏選択時
RPT ALL ：全曲リピート演奏選択時
RDM ALL ：ランダム演奏選択時
RDM OFF ：ランダム演奏キャンセル時

(MP3/WMA再生時)
SCAN ALL ：スキャン演奏選択時
SCAN OFF ：スキャン演奏キャンセル時
RPT ONE ：一曲リピート演奏選択時
RPT FOLDER ：フォルダリピート演奏選択時
RPT ALL ：全曲リピート演奏選択時
RDM FOLDER ：フォルダランダム演奏選択時
RDM ALL ：全曲ランダム演奏選択時
RDM OFF ：ランダム演奏キャンセル時

(iPod再生時)
RPT ON ：リピート演奏選択時
RPT OFF ：リピート演奏キャンセル時
RDM ON ：ランダム演奏選択時
：フォルダランダム演奏選択時
(FOLDER 点灯時)
RDM OFF ：ランダム演奏キャンセル時

• その他の表示
LOADING ：ディスクをローディング中
READING ：ファイルシステム読み込み中
PAUSE ：再生一時停止時
ERROR ：エラー発生時
EJECTING ：ディスクをイジェクト中

（別販）リモコン（RCB176）の使いかた



ソースを選ぶ
[SRC] ボタン

●電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。
●約1秒間押し続けると、電源が切れます。

音量を調節する
[▲], [▼] ボタン

音を消す
[MUTE] ボタン

●ミュート(消音)機能をON/OFFします。

[ISR] ボタン

●本機には当機能が備わっておりませんので、このボタンは使用しません。

曲を探す/放送局をプリセットする
[SCN] ボタン

●スキャン演奏します。
(CD/MP3/WMA/USB時)
●ラジオ時には、放送局を自動的にメモリーします。(オートストア機能)
●解除するときは、もう一度[**SCN**]ボタンを押します。

繰り返し再生する
[RPT] ボタン

●リピート演奏します。
（CD/MP3/WMA/USB/iPod時）
●もう一度[**RPT**]ボタンを押すと、解除またはモードが切り換わります。

バンドを切り換える
[BND] ボタン

●ラジオ時は受信バンドを切り換えます。
●CD/MP3/WMA/USB時、トップ機能再生します。

再生を一時停止する
[▶II] ボタン

●再生を一時停止します。
（CD/MP3/WMA/USB/iPod時）

選曲する/選局する
[I◀◀], [▶▶I]ボタン

●押した回数だけ先の曲、または前の曲を再生します。
約1秒間押し続けると、早送り/早戻しをします。
（CD/MP3/WMA/USB/iPod時）
●プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。
押し続ける（約１秒間）と、シークアップ/シークダウンします。（ラジオ時）

表示を切り換える
[DISP]ボタン

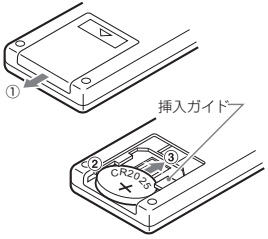
●次のように表示を切り換えます。
タイトル表示 ⟷ 時計表示

ランダム演奏する
[RDM] ボタン

●ランダム演奏します。
(CD/MP3/WMA/USB/iPod時)
●もう一度[**RDM**]ボタンを押すと、解除またはモードが切り換わります。

■電池の入れかた

① リモコンを裏返し、ふたを矢印の方向に引き出します。
② 電池(CR2025)の刻印面を上にして、挿入ガイド部にセットします。
③ セットした電池を押しながら矢印方向に挿入します。
④ 「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。



⚠警 告

・リモコンを放置しないでください。
停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。

・事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠注 意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、けがや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

・指定電池以外は使用しない。
・電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
・電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
・使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。
・リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。

DCP の取り外しかた

DCP(Detachable Control Panel) について…

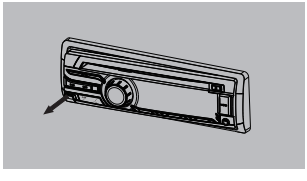
このコントロールパネルは盗難防止用に取り外すことができます。
車から離れるときは、DCP をお持ちになることをお勧めします。

1 [⏻ **SRC**] ボタンを押し続けて (約 1 秒間)、電源を切る

2 [**リリース**] ボタンを深く押す

→ DCP の左端が本体から外れます。

3 DCP を手前に取り出す

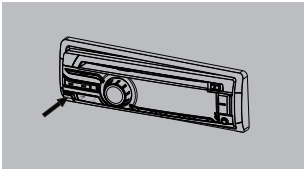


⚠注 意

・DCP は衝撃に弱いです。落としたり強い衝撃を与えると故障の原因となりますので取扱には、ご注意ください。

DCP の取り付けかた

1 DCP の右側部を、本機のツメ部に差し込む



2 DCP の左端部を、カチッと音がするまで押す

⚠注 意

・DCP がロックされていない状態で走行すると振動により落下する恐れがありますので、本機に確実に取り付けてください。
・本機と DCP を接続しているコネクターは大変重要な部分です。爪やドライバーなどで押してキズをつけないように、注意してください。

アドバイス

・DCP が汚れている場合、乾いたやわらかい布でふいてください。

電源を入れる・電源を切る

1 [⏻ SRC] ボタンを押す

→EJECT 以外のボタンを押しても、電源が入ります。

⚠注 意

・バッテリーあがり防止のため、本機をご使用するときは、エンジンをかけた状態で行ってください。

2 電源を切るには [⏻ SRC] ボタンを押し続ける（約 1 秒間）

⚠注 意

・電源を切るときは、音量を最小にしてください。電源をいれたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

ソースを選ぶ

ラジオ・CD・AUX などのソースを選ぶ時に使用します。

1 [⏻ SRC] ボタンを押す

→押すたびに、次のようにソースが切り替わります。

TUNER → DISC → AUX → USB(iPod) →

アドバイス

・「iPod」は対応機器が USB スロットに接続されたとき、表示します。

・ディスクが入っていないときは“DISC”は表示しません。USB 接続機器が接続されていないときは“USB（iPod）”は表示されません。

音量を調節する

1 [ROTARY] ノブを回す



⚠注 意

・運転中は、車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

時計を表示する

1 [DISP] ボタンを押して、時計表示を選ぶ

→「表示を切り替える」（16 ページ）の手順をご覧になり時計表示を選んでください。時計表示となります。

時刻を合わせる

1 時計表示時に、[**DISP**] ボタンを押し続ける（約 1 秒間）

アドバイス

・時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

2 [**|◀◀**], [**▶▶|**] ボタンを押して、時または分を選ぶ

→ 点滅している時刻が合わせられます。

3 [**ROTARY**] ノブを回して、時刻を合わせる

4 [**ROTARY**] ノブを押す

アドバイス

・点検や修理などでバッテリーを外したときには、もう一度、時刻合わせをしてください。

表示を切り替える

ラジオモード時、CD再生時、USB機器再生時のディスプレイ表示を切り替えます。

1 [**DISP**] ボタンを押して表示を選ぶ

→ 押すたびに、次のように切り替わります。

● ラジオモード

メイン表示(受信バンド/周波数)
↓
時計表示

● 音楽 CD 再生時

メイン表示(トラック番号/再生時間)
↓
時計表示
↓
ディスク名
↓
トラック名
↓
アーティスト名
↓
アルバム名

● MP3/WMA ディスク、USB、iPod 再生時

メイン表示(トラック番号/再生時間)
↓
(フォルダ番号/トラック番号)
↓
時計表示
↓
フォルダ名
↓
ファイル名
↓
トラック名
↓
アーティスト名
↓
アルバム名

アドバイス

・[**DISP**] ボタンを押し続ける（約1秒間）と、タイトルが1回スクロール表示されます。

オーディオの設定をおこなう

オーディオの設定

1 [♪] ボタンを押して、サウンド設定モードにする

2 [**|◀◀**], [**▶▶|**] ボタン押して、変更したいモードを選ぶ

→押すたびに以下のようにサウンド設定モードが切り替わります。

サウンド設定モード表示
SW-VOL *1 : サブウーファー音量
G-EQ *2※ : グラフィック･イコライザー
(BASS *3 : バス(低音))
(TREB *3 : トレブル(高音))
BAL : バランス(左右バランス)
FAD : フェダー(前後バランス)
INTEL-TUNE※: インテリジェント･チューン
LOUD : ラウドネス
LPF *1 : ローパスフィルター
P-EQ ※ : パラメトリック･イコライザー
SW-PHASE※: サブウーファー位相
PRE OUT※ : プリアウト

アドバイス

*1 (PRE OUT) が「SUB WOOFER」に設定時、表示されます。

*2 (EQ SELECT) が「G-EQ」に設定時、表示されます。

*3 (EQ SELECT) が「BASS/TREB」に設定時、表示されます。

→20 ページのシステム設定の変更（アジャストモード）も参照ねがいます。

※ 設定値を調整する時、ROTARY ノブを押してください。

3 [**ROTARY**] ノブを回して、設定値を選ぶ

4 設定終了後、[♪] ボタンを押して、元のモードに戻る

アドバイス

・約 10 秒間操作していないときは、調整前の表示に自動的に切り替わります。→（SW-VOL）、(BASS)、(TREB)、(BAL)、(FAD) 設定時

パラメトリック・イコライザーの設定

車両タイプに最適化された音質特性がプリセットされております。

1 「**オーディオの設定**」の手順で（**P-EQ**）を選ぶ

2 [**ROTARY**] ノブを押す

3 [**ROTARY**] ノブを回して、車両タイプを選択する

OFF ↔ SEDAN ↔ MINIVAN ↔ SUV
↔ COMPACT ↔ WAGON ↔ K-CAR

4 [**ROTARY**] ノブを押す

アドバイス

・P-EQ を設定すると、G-EQ がフラットになります。しかし、その後の G-EQ の調整は可能です。

グラフィック・イコライザーの調整

はじめに、プリセットされた音質カーブを選びます。更に音質をきめ細かく調整することができます。お好みの音質に設定してお楽しみください。

1 「**オーディオの設定**」の手順で（**G-EQ**）を選ぶ

2 [**ROTARY**] ノブを押して、プリセットされた音質を [**ROTARY**] ノブにて選ぶ

→ プリセットされた音質で良ければ、[♪] ボタンを押して、元のモードに戻ります。

OFF：フラット
⇕
(CUSTOM：カスタム)
⇕
BASS-BOOST：低音を強調
⇕
HIGH-BOOST：中音と高音を強調
⇕
VOCAL：中音を強調
⇕
IMPACT：低音と高音を強調
⇕
NATURAL：落ち着いてしっとりとした
⇕
USER1 ↔ USER2 ↔ USER3

3 更にお好みの音質調整を行う為には、[**ROTARY**] ノブを押す

4 [**|◀◀**], [**▶▶|**] ボタン押して、周波数を選ぶ (60Hz, 250Hz, 620Hz, 1kHz, 4kHz, 8kHz, 16kHz)

5 [**ROTARY**] ノブを回して、調整する

6 [**1**] ～ [**3**] ボタンを長押しすることで USER1 ～ USER3 に記憶されます

→ BASS-BOOST/HIGH-BOOST/VOCAL/IMPACT/NATURAL の各モード時に調整し、USER1 ～ USER3 に記憶しなかった場合、“CUSTOM” に一時的に保存されます。

7 [♪] ボタンを押して、元のモードに戻る

※ 初期設定は、「**NATURAL**」です。

インテリジェント・チューンの設定

サウンドリストアラー(S-RESTORER):
圧縮オーディオを原音の音質に近づける

バーチャルバス(V-BASS):
迫力ある重低音を放つ

ダイナミックビートエンハンサー (D-BEAT):
音源のメリハリ感が再現され、迫力あるビートが楽しめる

1 「**オーディオの設定**」の手順で（**INTEL-TUNE**）を選ぶ

2 [**ROTARY**] ノブを押す

3 [**I◀◀**], [**▶▶I**] ボタン押して、効果を出したい機能「S-RESTORER」「V-BASS」「D-BEAT」を選ぶ

4 [**ROTARY**] ノブで設定値を変更する「OFF/LOW/MID/HIGH」
※ 初期設定は、「**OFF**」です。

左右のスピーカー音量バランスを調整する(バランス調整)

左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

1 「**オーディオの設定**」の手順で（**BAL**）を選ぶ

2 [**ROTARY**] ノブを回して、左右のスピーカーの音量バランスを調整する
・調整範囲は、RIGHT 7 ～ LEFT 7です。
※ 初期設定は、「**0**」です。

前後のスピーカー音量バランスを調整する(フェダー調整)

前後のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

1 「**オーディオの設定**」の手順で（**FAD**）を選ぶ

2 [**ROTARY**] ノブを回して、前後スピーカーの音量バランスを調整する
・調整範囲は、FRONT 7 ～ REAR 7です。
※ 初期設定は、「**0**」です。

RCA 出力を設定する (PRE-OUT)

RCA 出力（リアの 2ch）をサブウーファーに切り替えます。

1 『**オーディオの設定**』の手順で「**PRE OUT**」を選ぶ

2 [**ROTARY**] ノブを押す

3 [**ROTARY**] ノブを回して選択する
・**REAR**：通常出力になります。
・**SUB WOOFER**：低域のみ出力します。
※初期設定は、「**SUB WOOFER**」です。

サブウーファーのローパスフィルターを調整する

サブウーファーの高域の音をカットしお楽しみいただけます。

1 「**オーディオの設定**」の手順で（**LPF**）を選ぶ

2 [**ROTARY**] ノブを回して、ローパスフィルターカットオフ周波数（Hz）を選ぶ
「THRGH」 ⟷ 「50」 ⟷ 「80」 ⟷ 「120」
※ 初期設定は、「**THRGH**」（スルー）です。

サブウーファー出力ボリュームを調整する

1 「**オーディオの設定**」の手順で（**SW-VOL**）を選ぶ
2 [**ROTARY**] ノブを回して、調整する

• 調整範囲は、-6 ～ +6 です。
※ 初期設定は、「**0**」です。

ラウドネスを調整する

音量が小さいときにでも聞き易いように低音 / 高音を強調します。

1 「**オーディオの設定**」の手順で（**LOUD**）を選ぶ
2 [**ROTARY**] ノブを回して、調整する
※初期設定は、「**ON**」です。

音質を調整する（バス / トレブル）

低音 / 高音をお好みのレベルに調整することができます。

1 「**オーディオの設定**」の手順で（**BASS**）または（**TREB**）を選ぶ
2 [**ROTARY**] ノブを回して、レベルを調整する

• 調整範囲は、– 15～+ 15です。
※ 初期設定は、「**0**」です。

アドバイス

• 「システム設定をおこなう」の (EQ SELECT) が「G-EQ」に設定されている場合、(BASS) および (TREB) は表示されません。

システム設定をおこなう（アジャストモード）

設定項目の選びかた

1 [♪] ボタンを押し続ける（約 1 秒間）
2 [⏮]、[⏭] ボタンを押して、設定する項目を選ぶ
→ 押すたびに、アジャストモード表示の通りに設定項目が切り替わります。設定は、各設定項目の設定手順をご覧になり設定してください。

アジャストモード表示

AUTO STORE	ラジオモード時のみオートストア
DX/LO	ラジオモード時のみDX/LOの設定
AUX SENS	AUXモード時のみ外部入力感度調整
DIMMER	ディマー調整
BEEP	ビープ音設定
EQ-SELECT	音質設定
SWRC	ステアリングホイールリモコンボタンの設定
RESET	設定メモリーをリセットする

アドバイス

• (**AUTO STORE**)、(**DX/LO**) は、ラジオモード選択時、(**AUX SENS**) は、AUX モード選択時に表示されます。
→ 詳細手順は「ラジオを聴く」「ポータブルオーディオ (AUX)」をそれぞれ参照願います。

3 設定を終えたら [♪] ボタンを押す

ディスプレイ照明を設定する (DIMMER)

車のイルミネーションに連動させて、照明を減光させることができます。

1 『**設定項目の選びかた**』の手順で (**DIMMER**) を選ぶ

2 [**ROTARY**] ノブを回して設定する

- **ON**：車のイルミネーションに連動して、ディスプレイ照明を減光します。
- **OFF**：連動しません。

※初期設定は、「**ON**」です。

ビープ音を設定する (BEEP)

ボタン操作時のビープ音を設定します。「**TYPE-A/TYPE-B**」のとき、ボタン操作時にスピーカーから”ピッ”と音がします。

1 『**設定項目の選びかた**』の手順で (**BEEP**) を選ぶ

2 [**ROTARY**] ノブを回して設定する

- TYPE-A/TYPE-B：スピーカーから音がでます。
- **OFF**：スピーカーから音がでません。

※初期設定は、「**TYPE-A**」です。

音質の調整方法を設定する (EQ SELECT)

音質の調整方法を切り替えます。

1 『**設定項目の選びかた**』の手順で (**EQ SELECT**) を選ぶ

2 [**ROTARY**] ノブを回して設定する

- **G-EQ**：グラフィックイコライザーによる音質調整。
- BASS/TREB：低音 / 高音による音質調整。

※初期設定は、(**G-EQ**) です。

ステアリングリモコンを設定する (SWRC)

本機能は、ステアリングリモコン搭載車で使用できます。お車のステアリングリモコンのスイッチに機能を割り付けることで、運転中でもステアリングから手を離さずにオーディオの操作ができます。

1 『**設定項目の選びかた**』の手順で (**SWRC**) を選ぶ

2 [**ROTARY**] ノブを押す

→「DON'T TOUCH SWRC KEYS_ _ _」が約 2 秒間、表示されますが、この間はどのボタンも触らないでください。

3 割り当てる機能を [**ROTARY**] ノブで選ぶ

→ 例えば、「VOLUME +」は音量増（ボリュームアップ）に該当します。

4 [**ROTARY**] ノブを押す

→「KEEP PRESSING A SWRC KEY UNTIL OK_ _ _」がスクロール表示されます。

5 該当する車両側ステアリングリモコンボタンを押す

→ 3～5の操作を繰り返し、必要なステアリングリモコン全てに割り当てます。

■割り当てた機能の設定を解除するには

1 上記3の操作時“ALL CLR”を [**ROTARY**] ノブで選ぶ

2 [**ROTARY**] ノブを押すと「ARE U SURE」と表示される

→ 戻る場合は、[**DISP**] ボタンを押す。

3 解除して良い場合は [**ROTARY**] ノブを押す

→「CLEARED」と表示されます。

アドバイス

・走行中、運転の妨げにならないように十分注意してください。

・一部のステアリングリモコン搭載車には対応しておりません。

・別売のステアリングリモコン接続ケーブルが必要です。ご購入店にご相談のうえお買い求めください。また、接続は販売店にご依頼ください。詳しくは、巻末の取付説明をご覧ください。

各種設定メモリーを抹消する（RESET）

1 『**設定項目の選びかた**』の手順で (**RESET**) を選び、[**ROTARY**] ノブを押す

2 [**ROTARY**] ノブを回して「ARE U SURE」 を選び、抹消して良ければ [**ROTARY**] ノブを押す

→「CLEARED」が表示されます。

→「CANCEL」を選んだ時は抹消が中止されます

ラジオを聴く

ラジオを選ぶ

1 [⏻ **SRC**] ボタンを押して **TUNER** を選ぶ

→ 押すたびに、次のようにソースが切り替わります。

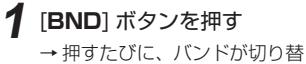


受信バンドを切り替える

受信バンドを切り替えることにより、FM 放送、AM 放送をお楽しみいただけます。

1 [**BND**] ボタンを押す

→ 押すたびに、バンドが切り替わります。



受信感度を選ぶ（DX/LO）

受信感度を切り替えることにより、音質の良い放送局をお楽しみいただけます。

1 [♪] ボタンを押し続ける（約 **1** 秒間）

2 [**I◀◀**]、[**▶▶I**] ボタンを押して、(**DX/LO**) を選ぶ

3 [**ROTARY**] ノブを回して設定する

DX：電波の強い放送局・弱い放送局、関係なく受信します。

LOCAL：電波の強い放送局のみ受信します。より良い音質の放送局をお楽しみいただけます

※ 初期設定は、(**DX**) です。

自動選局する（シーク選局）

放送局を自動的に選局できます。

1 [**I◀◀**]、[**▶▶I**] ボタンを押し続ける（約 1 秒間）

→ 放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する（マニュアル選局）

1 [**I◀◀**]、[**▶▶I**] ボタンを押す

アドバイス

- そのまま押し続けると、自動選局になります。

プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

1 [**DIRECT**]（1 ～ 6）ボタンを押して、聴きたい放送局を選ぶ

→ ディスプレイに受信周波数とプリセット No. を表示します。

アドバイス

・[**DIRECT**] ボタンを押し続ける（約 2 秒間）とプリセットメモリーとなり、受信中の放送局がメモリーされてしまいます。

プリセットメモリーの登録（手動）

手動プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーを手動で登録します。

登録できるプリセットメモリーは、FM1、FM2、FM3、AM1、AM2 各 6 局、合計で 30 局です。

1 [**BND**] ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

2 [I◀◀]、[▶▶I] ボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

3 メモリーさせたい [**DIRECT**]（1 ～ 6）ボタンを押し続ける（約 2 秒間）

→ 押した [**DIRECT**]（1 ～ 6）ボタンに登録されます。

プリセットメモリーの登録（自動：オートストア機能）

オートストア機能について…

受信感度の良い放送局を自動的にプリセットメモリーへ登録をします。

1 [**BND**] ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

→ 自動メモリーは、受信バンド別に登録しますので、それぞれ登録してください。（FM 時は FM3 へ 6 局、AM 時は AM2 に 6 局、合計 12 局が登録されます。）

2 [♪] ボタンを押し続けて（約 1 秒間）、(**AUTO STORE**) を選ぶ

3 [**ROTARY**] ノブを押し続ける（約 1 秒間）

→ ディスプレイに自動メモリー動作中のプリセット No. を表示します。

・自動的に、受信感度の良い放送局が [**DIRECT**]（1 ～ 6）ボタンに登録されていきます。

アドバイス

・自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。

・登録できる放送局が 6 局に満たない場合は、工場出荷時の放送局が呼び出されます。以前メモリーしていた放送局は消去されますので、ご注意ください。

バンドスキャン機能について

受信感度の良い放送局を周波数順に探しながら、各局を7秒間ずつ聞くことができます。

1 [**BND**] ボタンを押して、聞きたい受信バンドを選ぶ

2 [**BND**] ボタンを押し続けます（約 1 秒間）

MP3/WMA について

● MP3 とは

MPEG 規格のオーディオ・レイヤー3(MPEG audio layer3) に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。
オリジナルの音声データを約 1/10 のデータ量にまで圧縮でき、さらに高音質なのが特長です。1 枚の CD-R/RW ディスクに、CD 約 10 枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

● WMA とは

・「**Windows Media Audio**」の略で、マイクロソフトが開発したオーディオファイルのことです。

● DRM(著作権保護) の解除方法について

WMA の DRM（著作権保護）が ON のままのファイルを再生した場合は、音声が出力されません。解除してファイルを作成してください。

※ 作成した WMA ファイルにおいては、個人の責任において実施してください。

● ファイル作成時のご注意

再生可能なサンプリングレート、ビットレートについては「**仕様**」（40 ページ）をご覧ください。

フォルダ名 / ファイル名

・フォルダ名、ファイル名は半角英数 / 記号で 64 文字以内で作成してください。それ以外で文字を入力した名前は、正しく表示されない場合があります。フォルダ名、ファイル名はディスプレイに表示されます。

ファイル拡張子
- ファイル拡張子には、必ず半角文字で拡張子「.MP3」「.WMA」「.mp3」「.wma」を付けてください。それ以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。

論理フォーマット(ファイルシステム)
- MP3/WMA ファイルを CD-R/RW に記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定は「ISO9660(レベル 1,2)、Joliet、Romeo」を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。
- 同一フォルダ内に、同じファイル名を付けないでください。

TAG 表示について
- MP3/WMA 再生ではフォルダ名、ファイル名、TAG をタイトルとして表示することができます。表示できる文字コードは UTF-8、表示できる文字は半角英数字および一部の記号です。アルファベットは大文字のみの表示で小文字は大文字に変換されます。本機は漢字・ひらがな・カタカナ表示に対応しておりません。それ以外の文字を入力した名称は、正しく表示しません。表示できない文字のときは、"＊"（アスタリスク）に置き換えます。
- MP3 の場合は、ID3-TAG V2.3/2.2/1.1 に対応しています。TAG 表示は、V2.3/2.2 を優先します。
- WMA の場合、アルバム TAG は、拡張ヘッダーに書き込まれた情報を表示します。

フォルダ数 / ファイル数
- MP3/WMA（ディスク）
  USB機器
  フォルダ数：最大 999 フォルダ（1 フォルダあたり最大 255 ファイル。
  ファイル数：最大 65535 ファイル

■ディスクの再生について

- ディスクを入れると、タイトル表示部に「LOADING」を表示して、ディスク内のすべてのフォルダをチェックしたのち、再生がはじまります。チェックをしている間は音が出ません。読み込めないフォルダなど、作成したディスクによっては、チェックする時間がかかる場合があります。
- WMA の DRM（著作権保護）が ON のままのファイルを再生した場合は、音声が出力されません。
- MP3/WMA データ以外のファイルは再生できません。
- 曲の再生はディスクに記録した順番に行われます（パソコン上で表示される順番通りに再生されるとは限りません）。
- 記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。
- 読み込めないファイルは、そのファイルは飛ばして、次ファイルを再生します。記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。
- 再生できないディスクが挿入された場合は、LOADING 後、"DISC ERROR" と表示されます。
- マルチセッションディスク（音楽 CD-DA の曲と MP3/WMA の曲が混在したディスク）再生時、正常に再生できない場合もあります。

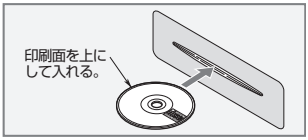
ディスクを入れる

ディスクインプレイ機能について…
本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーが ON または ACC であればディスクを入れると、自動的に電源が入り、再生をはじめます。

⚠注 意

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があったりする CD は使用しないでください。そのまま CD プレーヤーに入れると、CD が取り出せなくなり、故障の原因となります。
- ディスクがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機に他のディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。
- CD-R または CD-RW で記録されたディスクでも使用できない場合があります。

1 ディスク挿入口にディスクを入れる



→ ディスクを入れると、自動的に再生がはじまります。

ディスクを取り出す

バックアップイジェクト機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも [⏏] ボタンを押すと、ディスクを取り出すことができます。

1 [⏏] ボタンを押す

→ ディスクがイジェクトされたら、取り出します。

すでに入っているディスクを聴く

1 [⏻ **SRC**] ボタンを押して、DISC を選ぶ

→ CD/MP3/WMA モードになると、自動的に再生がはじまります。

ディスクが入っていないときは、CD/MP3/WMA モードにはなりません。

最初の曲から聴く（トップ機能）

トップ機能について…

再生しているディスクの最初の曲から再生をはじめます。

1 別販リモコンの [**BND**] ボタンを押す

→ 最初の曲（トラック No.1）から再生されます。

アドバイス

- MP3/WMA の場合は、再生中のフォルダ内の最初の曲から再生します。

再生を止める（一時停止）

1 [**BND**] ボタンを押す
→ ディスプレイに（**PAUSE**）を表示し一時停止します。

2 続けて再生を聴きたいときには、もう一度 [**BND**] ボタンを押す

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、[▶▶I] ボタンを押す
前の曲を聴くときは、[I◀◀] ボタンを 2 回押す

アドバイス

- [▶▶I] ボタンを押すと、次の曲が再生されます。また押した回数だけ先の曲が再生されます。
- [I◀◀] ボタンを押すと、再生中の曲を最初から再生します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が再生されます。
- 曲の頭部分を再生しているときに [I◀◀] ボタンを 2 回押すと、2 曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り / 早戻しする

1 早送りするときは、[▶▶I] ボタンを押し続ける
早戻しするときは、[I◀◀] ボタンを押し続ける

アドバイス

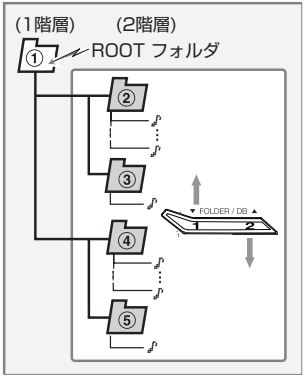
- MP3/WMA ディスクの場合は、開始および曲間で多少時間がかかります。また、再生時間表示に誤差が生じる場合があります。
- [I◀◀] ボタンを押し続けても前の曲には戻らず、現在再生中の曲の頭より再生を始めます。

フォルダを切り替える（フォルダ選択モード）

フォルダ選択モードについて…

MP3/WMA ディスク再生時にフォルダを選択して、そのフォルダ内の最初の曲から再生します。

1 [**1**], [**2**] ボタンを押す
→ [**1**] を押したときは前のフォルダに、[**2**] を押したときは次のフォルダに移ります。



2 曲を選ぶには [⏮], [⏭] ボタンを押す

フォルダから曲を探す

MP3/WMA の場合、リストからフォルダを選べます。

1 [MENU] ボタンを押す
→ディスプレイに、(**FOLDER SCH**) と表示されます。

2 [ROTARY] ノブを押す
→現在再生しているフォルダが表示されます。

3 [ROTARY] ノブを回す
→ディスクに入っているフォルダ名がつぎつぎと表示されます。

4 聞きたいフォルダ名が表示されたら、[ROTARY] ノブを押す
→ファイルのリストが表示されます。

5 聞きたいファイルが表示されたら、[ROTARY] ノブを押す

アドバイス

- ディスクの ROOT にファイルがある場合、そのファイルも 1 つのフォルダとして表示されます。

いろいろな再生 (スキャン / リピート / ランダム演奏)

アドバイス

- リピート / ランダム演奏は電源を **OFF** にした場合でも保持されます。
- スキャンは保持されません。

■ 聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

音楽 CD または MP3/WMA ディスク 1 フォルダ内に収録されている全曲を 10 秒間ずつ再生します。

1 [5] ボタンを押す
→ディスプレイに、(**SCAN ALL**) を 2 秒間表示、[**SCN**] インジケーターが点灯し、演奏をします。

アドバイス

- スキャン演奏は、再生している曲の次の曲からはじまります。

■ 曲を繰り返し聴く (トラックリピート演奏)

再生中の曲を繰り返し再生します。

1 [6] ボタンを押す
→ディスプレイに、(**RPT ONE**) を 2 秒間表示、[🔁] インジケーターが点灯し、リピート演奏をします。

■ フォルダ内の曲を繰り返し聴く (オールリピート演奏)

再生中の MP3/WMA フォルダ内の曲を繰り返し再生します。

1 [6] ボタンを 2 回押す
→ディスプレイに、(**RPT FOLDER**) を 2 秒間表示、[FOLDER] と [🔁] インジケーターが点灯し、オールリピート演奏をします。

■フォルダ内の曲をランダムに聴く（フォルダランダム演奏）

再生中の MP3/WMA フォルダ内の曲を順不同に再生します。

1 [**4**] ボタンを押す

→ディスプレイに（**RDM FOLDER**）を 2 秒間表示、[FOLDER]、[⤮] インジケーターが点灯し、フォルダランダム演奏をします。

■全フォルダの曲をランダムに聴く（オールランダム演奏）

MP3/WMA ディスク全フォルダ内の曲を順不同に再生します。

1 [**4**] ボタンを押す

→ディスプレイに（**RDM ALL**）を 2 秒間表示、[⤮] インジケーターが点灯し、オールランダム演奏をします。

■通常の演奏に戻すには…

1 もう一度、同じボタンを押す

→それぞれのインジケーターが消灯し、演奏している曲から通常の演奏になります。

USB 機器のオーディオファイルを聴く

＜USB 機器の操作について＞

この章は、USB 機器を本機に接続したときの操作について説明しています。

次の操作は CD/MP3/WMA と同様の操作です。

- 曲を選ぶ
- 早送り / 早戻し（DRM ファイルを除く）
- 一時停止・フォルダ選択
- スキャン / リピート / ランダム演奏

「CD/MP3/WMA を聴く」（25 ～ 30 ページ）をご覧ください。

USB 機器について

- 本機で再生できるオーディオファイルは、MP3/WMA ファイルです。詳しくは「**MP3/WMA について**」(25 ページ)をご覧ください。
- 本機の USB スロットに接続をして再生できる USB 機器は、「**USB マスストレージクラス**」として認識されることが条件となり、すべての USB 機器の動作を保証するものではありません。

※「USB マスストレージクラス」に準拠したデバイスは、特殊なドライバーやアプリケーションソフトを使用することなく接続するだけで使用できます。

- 使用する USB 機器が「**USB マスストレージクラス**」に準拠しているかは、USB 機器の販売メーカーにお問い合わせください。

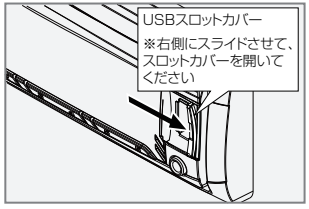
- USB 機器を本体に挿入すると突起物となり、運転中に何らかの危険を及ぼす場合があります。かならず別売の延長USB ケーブル(CCA-755-500) をご使用ください。
- 記録されているデータを消失してしまったときのために、貴重なデータは必ずパソコンなどにバックアップをとっておくことをお勧めします。
- 本機はパソコンとの接続には対応していません。また、USB ハブを介して接続することもできません。
- 2 つ以上のドライブで構成されている USB 機器は、どちらか一方のドライブのみを認識します。
- セキュリティー機能の付いた USB 機器は再生できません。
- 接続する USB 機器によっては曲順などが変わってしまう場合があります (パソコン上で表示される順番通りに再生されるとは限りません)。
- USB 再生中、フォルダ UP/DOWN を連続して操作すると、演奏時間表示が[00:00]のまま、音が出ません。

USB 機器を接続する

⚠警 告

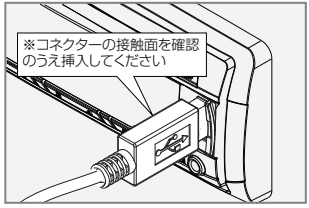
- USB コネクター部に異物を入れないでください。
- エンジンをかける前に接続しないでください。USB 機器がこわれることがあります。

1 USB スロットカバーを開ける



2 USB スロットに USB 延長ケーブルを接続する

3 USB 延長ケーブルに USB 機器を接続する



→ 挿入すると、USB 機器に保存されている最初のファイルから再生をはじめます。

アドバイス

- USB 機器を認識しない場合は、[⏻ **SRC**] ボタンを押してソースを切り替えてください。
- USB 機器はコネクターの奥までしっかりと差し込んでください。差し込みが不完全ですと、USB 機器を認識しない場合があります。
- 収録されている曲数によっては読み込みまでに時間がかかる場合があります。

USB 機器のオーディオファイルを聴く

1 [⏻ SRC] ボタンを押して、ソースを切り替え、USB を選ぶ

→ 押すたびに次のように切り替わります。USB モードになると前回停止したところからはじまります。(DRM ファイルを除く)

TUNER → DISC
↳ AUX ← USB ↲

USB 機器が接続されているときに USB モードを表示します。

・USB 機器を取り外し、再度接続したときは、USB 機器に保存されている最初のファイルから再生をはじめます。

再生の終了と USB 機器の取り外し

1 [⏻ SRC] ボタンを押して、USB 以外のソースに切り替える

→ USB 機器へのアクセスが停止します。

⚠注 意

・USB モード中に USB 機器を抜き取らないでください。USB 機器のデータが破損する場合があります。

・貴重なデータは必ずパソコンなどにバックアップデータを保存しておいてください。

2 USB スロットから延長ケーブルを取り外す

3 USB スロットのカバーを閉じる

アドバイス

・再生終了後は USB スロットのカバーを閉じて、ほこりなどの侵入による接続端子の損傷を防止してください。

・USB 機器を車内に放置しないでください。直射日光や高温などの影響により、USB 機器が変形したり故障する場合があります。

iPod を操作する

＜ iPod について＞

この章は iPod が USB スロット経由で本機に接続したときの操作について説明しています。

- iPod および iPhone に関する操作方法を本紙では、iPod と総称して表現しております。
- 本機と接続可能な iPod/iPhone に関しては、お近くのクラリオン販売店にお問い合わせいただくか、弊社 Web サイト www.clarion.com をご覧ください。

次の操作は CD と同様の操作です。

- 曲を選ぶ・早送り / 早戻し
- 一時停止
- リピート / ランダム演奏

「CD/MP3/WMA を聴く」（25 ～ 30 ページ）をご覧ください。

iPod で再生していた“シャッフル演奏”は次のように設定されます。

- シャッフル（アルバム）→ランダム演奏
- シャッフル（ソング）→オールランダム演奏

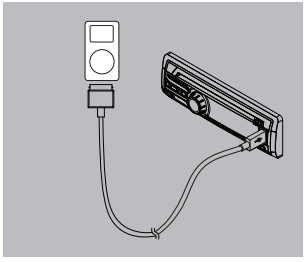
iPod を接続する

1 iPod を接続する

「USB 機器を接続する」と同じ手順で、iPod を接続します。

アドバイス

- iPod/iPhone を本機と接続する場合、iPod/iPhone に付属している接続ケーブルをご利用ください。



iPod を選ぶ

1 [⏻ SRC] ボタンを押して、ソースを切り替え、iPod を選ぶ

→ 押すたびに、次のように切り替わります。iPod モードになると、iPod で再生していた最後のファイルから再生をはじめます。

TUNER → DISC
↳ AUX ← iPod ↲

- iPod や iPhone でビデオを再生していた場合、ビデオファイルの音声のみが再生されます。

データベースアップ / ダウン機能

1 [**2**] ボタンを押すと、次のデータベースに移る

2 [**1**] ボタンを押すと、前のデータベースに戻る

いろいろな再生（リピート演奏 / ランダム演奏）

アドバイス

- メニューモード中もリピートの操作はできますが、メニューモードは解除されます。
- iPod で、設定したランダム / リピート機能は、iPod 着脱後もその機能を保持します。

■曲を繰り返し聴く（リピート演奏）

1 [**6**] ボタンを押す

→ ディスプレイに（**RPT ON**）を2秒間表示、[🔁] インジケーターが点灯し、演奏をします。

■曲をランダムに聴く（ランダム演奏）

フォルダ内の曲を順不同に再生します。この演奏は iPod の“シャッフル（ソング）”演奏と同じです。

1 [**4**] ボタンを押す

→ ディスプレイに（**RDM ON**）を 2 秒間表示、[🔀] インジケーターが点灯し、演奏をします。

■アルバムをランダムに聴く（ランダム演奏）

選択したアーティスト内のアルバムをアルバム（フォルダ）単位で順不同に再生します。この演奏は iPod の“シャッフル（アルバム）”演奏と同じです。

1 [**4**] ボタンをもう一度押す

→ ディスプレイに（**RDM ON**）を 2 秒間表示、[🔀]、[FOLDER] インジケーターが点灯し、演奏をします。

■通常の演奏に戻すには…

1 もう一度、同じボタンを押す

→ それぞれのインジケーターが消灯し、演奏している曲から通常の演奏になります。

アドバイス

- 選択されたカテゴリー内で全曲再生後、リピートモードをキャンセルした場合は、その選択されたカテゴリー内の最初の曲から再生をはじめます。
- ランダム演奏、またはオールランダム演奏時にイグニッションスイッチを切り、すぐに入れ直した場合、今まで再生していた曲以外の曲から再生がはじまります。

iPod メニューモードでミュージックを聴く

1 [**MENU**] ボタンを押す

→ iPod メニューモードになります。

2 [**ROTARY**] ノブを回して、カテゴリー表示を切り替える



アドバイス

- [**MENU**] ボタンを押すとひとつ前のメニューにもどります。

3 [**ROTARY**] ノブを押して、カテゴリーを選ぶ

4 それぞれのカテゴリーから再生したい曲まで [**ROTARY**] ノブを回してさがす

5 再生したい曲が表示されたら、[**ROTARY**] ノブを押す

→ 選んだ曲から再生をはじめ、iPod メニューモードが解除されます。

タイトル表示について

本機は iPod から送られてくるタイトル情報の表示が可能です。

- 文字コードは UTF-8、表示できる文字は半角英数字・および一部の記号です。
- アルファベットは大文字のみの表示で小文字は大文字に変換されます。
- 本機は漢字・ひらがな・カタカナ表示に対応しておりません。
- 表示できない文字のときは、“＊”（アスタリスク）で置き換えます。

ポータブルオーディオ（AUX）

AUX を選ぶ

本機に市販のポータブルオーディオなどを接続して、音楽ソースを聴くことができます。

1 ポータブルオーディオを接続した時は [⏻ SRC] ボタンを押してソースを切り替え、AUX を選ぶ

→ 押すたびに次のように切り替わります。AUX モードになると接続されたポータブルオーディオのプレイ操作で、再生されます。

TUNER → DISC
↳ AUX ← USB(iPod) ↲

AUX 入力の接続のしかた

市販の 3.5mm ステレオミニプラグコードを使用して、ポータブルオーディオを本機正面パネルの［**AUX 入力端子**］へ接続してください。

⚠注 意

・プラグを接続している状態で、プラグに無理な力を加えないでください。また、ポータブルオーディオを使用しないときには、プラグを抜いてください。

ポータブルオーディオの入力レベルを設定する (AUX SENS)

本機に接続された市販のポータブルオーディオの入力レベルを設定します。音が割れる / 音が小さいときには、入力レベルを調整してください。

1 [♪] ボタンを押し続ける（約 1 秒間）

2 ⏮、⏭ボタンを押して、(**AUX SENS**) を選ぶ

3 [**ROTARY**] ノブを回して設定する

・**LOW** ： 入力レベルが高く音割れなどが発生しているとき
・**MID** ： 通常レベルのとき
・**HIGH** ： 入力レベルが低いとき

※初期設定は、「**MID**」です。

アドバイス

・この機能は、AUX モードを選択しているときに設定できます。

故障かな？と思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

	現　象	原　因	処　置
共通	電源が入らない（音が出ない）	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い上げの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		リモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、リモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプなど接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプなどについて、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	本機背面に配線されているメイン電源コードを一旦外し、メモリーの内容をクリアしてから、再度メイン電源コードを接続し、本機電源を入れ直してください。
	音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作している	音量をもう少し絞ってお聴きください。 電源を再投入することで、音声出力は復帰します。再度、短時間で音が出なくなる場合は最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	「**DX**」モードにするか、手動選局モードで選局してください。 ※「**DX**」モードの設定は23ページを参照してください。

故障かな？と思ったら

	現　象	原　因	処　置
CD／MP3／WMA	音が出ない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上にして入れてください。
		ディスクにMP3/WMAファイルがない	ディスクにMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		ファイル形式または、ファイル名が正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeoでファイルを作成してください。
	音飛びするノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクをやわらかい布でふいてください。
		MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		録音時のサンプリング周波数が低い	サンプリング周波数の設定を上げて録音し直してください。
		ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
	ファイル名が違う	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeoでファイルを作成してください。
その他	ディスプレイに「**エラー表示**」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次の「**エラー表示について**」を参照して、内容を確認してください。
USB／iPod	音が出ない	接続機器にMP3/WMAファイルがない	接続機器にMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
	音飛びするノイズなどが入る	MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
	USB機器が認識されない	USB機器が破損している	USBコネクターを抜き差ししてください。それでも認識しない場合には、新しいUSB機器と交換してください。
		USBコネクターの接続が悪い	
		動作状況により、本機とUSB機器やiPod、携帯オーディオが認識されない場合がございます。	
	USB機器が挿入できない	USBコネクターの挿入方向が間違っている	USBコネクターの向きを変えて挿入してください。
		USB機器のコネクターが破損している	新しいUSB機器と交換してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原　因	対処方法
Disc Play	CD MECHA ERROR	CDメカ不具合	ディスクを一旦イジェクトし、再度挿入してください。
	DISC ERROR	ディスクに傷などがあり、再生できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
		ディスクを裏返しに入れ、再生できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
	NO FILE	MP3/WMA以外のファイルしか入っていない	録音されているディスクと交換してください。
USB	USB ERROR	プロトコルやファイルシステムが正しくないとき	正しいプロトコルやファイルシステムでUSBを書き換えてください。
	NO DEVICE	USB機器が接続されていない、又は認識されない	他のサポートされた機器を接続してください。
	NO FILE	MP3/WMAファイルが保存されていないとき	そのデバイスにMP3/WMAファイルを保存してください。
	HUB NOT SUPPORT	USBハブは未対応です	USBハブはご使用にならないでください。
	DEVICE NOT SUPPORT	接続されたUSB機器は未対応です	別の機器と交換してください。
iPod	IPDNOCTE	接続されたiPod機器は未対応です	別の機器と交換してください。
	NO FILE	ファイルが存在していないプレイリストを選択している	その機器にファイルを保存してください。
		ファイルが保存されていないとき	その機器にファイルを保存してください。

上記以外のエラーが表示されたときは、本体の電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕　様

■CD プレーヤー部

周波数特性	：20Hz ～ 20kHz ± 3dB
SN 比	：85dB 以上
高調波ひずみ率	：0.1%以下

■FM チューナー部

受信周波数	：76.0MHz ～ 90.0MHz
実用感度	：5dBμV
SN 比	：60dB
周波数特性	：30Hz ～ 7kHz ± 3dB
分離度	：30dB（1kHz）
高調波ひずみ率	：0.3%以下（1kHz）

■AM チューナー部

受信周波数	：522kHz ～ 1,629kHz
実用感度	：30dBμV
SN 比	：50dB

■USB 部

最大転送レート 12Mbps で USB 1.1/2.0 互換
フォルダ構造：8 階層
フォルダ数　：最大 999 フォルダ（1 フォルダあたり最大255 ファイル）
ファイル数：最大 65535 ファイル
ファイル名：64byte（1byte 文字で 64 文字）
フォルダ名：最大 64（1byte 文字で 64 文字）

[MP3]
MP3 デコード：MPEG-1、2、2.5 オーディオレイヤー 3 準拠
サンプリングレート (kHz)：
　MPEG-1　：32、44.1、48
　MPEG-2　：16、22.05、24
　MPEG-2.5：8、11.025、12
ビットレート (kbps/VBR)：
　MPEG-1　：32 ～ 128、160 ～ 384
　MPEG-2　：32 ～ 128、160 ～ 384
　MPEG-2.5：32 ～ 128、160 ～ 384

[WMA]
サンプリングレート (kHz)：22.05、32、44.1、48
ビットレート (kbps/VBR)：32 ～ 320

■MP3/WMA 部

セクタ構造：CD-ROM モード 1、モード 2- フォーム 1（自動判別）
論理フォーマット：ISO9660 レベル 1,2/Joliet/Romeo
フォルダ構造：8 階層
　1 フォルダあたり最大 255 ファイル
ファイル数：最大 255 ファイル（ファイル+フォルダ数（ルート含む）の最大値は、512）
ファイル名：64（1byte 文字で 64 文字）
フォルダ名：最大 64byte（1byte 文字で 64 文字）

[MP3]
MP3 デコード：MPEG-1、2、2.5 オーディオレイヤー 3 準拠
サンプリングレート (kHz)：
　MPEG-1　：32、44.1、48
　MPEG-2　：16、22.05、24
　MPEG-2.5：8、11.025、12
ビットレート (kbps/VBR)：
　MPEG-1　：32 ～ 128、160 ～ 384

MPEG-2　：32 ～ 128、
　　160 ～ 384
MPEG-2.5：32 ～ 128、
　　160 ～ 384

[WMA]
サンプリングレート (kHz)：
　　22.05、32、44.1、48
ビットレート (kbps/VBR)：
　　32 ～ 320

■AUX 部

入力感度
　LOW　：1.3V
　MID　：1.0V
　HIGH　：0.7V

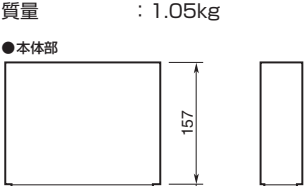
■オーディオ部

定格出力　：20W × 4（20Hz ～ 20kHz、1%、4 Ω）
最大出力　：50W × 4
適合インピーダンス：4 Ω
　　(4 Ω～ 8 Ω)
BASS　　：± 15dB (100Hz)
TREBLE　：± 15dB (10kHz)
ラインアウト出力レベル：2V
　　(CD1kHz)

■共通部

電源電圧　：DC14.4V
接地方式　：マイナス接地
消費電流　：3.0A（1W 時）
ヒューズ定格　：15A
外形寸法　：178(W)×50(H)
　　× 177（D）mm
　　[取付寸法：157(D)mm]
質量　：1.05kg

●本体部



■付属品

・取扱説明書……1 部
・保証書……1 部
・電源コード……1 本
・取付ネジ
　(M5 × 8)……4 本

※ これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

WMDRM10 について

・この製品は財産権により保護されています。この製品外での当該技術の使用または配布はマイクロソフトの許諾がなければ禁止されます。

・コンテンツオーナーは著作権を含む自らの知的財産権を守るためにウィンドウズメディアデジタル権管理技術（WMDRM）を使用しています。このデバイスは WMDRM によって保護されたコンテンツにアクセスするために WMDRM ソフトウエアを使用しています。WMDRM ソフトウエア

がコンテンツの保護に失敗した場合、コンテンツオーナーは保護されたコンテンツを再生またはコピーするために WMDRM を使用するソフトウエアの能力を取り消すようマイクロソフトに依頼することがあります。この取り消しは保護されていないコンテンツには影響しません。あなたが保護されたコンテンツ用にライセンスをダウンロードするとき、あなたはマイクロソフトがライセンスとともに取り消しリストを含めることができることに同意します。コンテンツオーナーはそのライセンスにアクセスするためのWMDRMをアップグレードするようあなたに求めることがあります。あなたがアップグレードを差し控えた場合、あなたはアップグレードを必要とするコンテンツにアクセスすることはできません。

アフターサービスについて

■ 保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い上げの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■ 保証期間

お買い上げの日より 1 年間です。

■ 万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。ただし、脱着にともなう工賃は、お客様のご負担となります。
お買い上げの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後 6 年保有しています。

■ ご質問・ご相談について

本機に関するご質問・ご相談は、最寄りの弊社修理相談窓口または弊社お客様相談室にお問い合わせください。

取付説明

取付作業前のご確認事項

■付属品について

・付属品の構成は、取扱説明書の「仕様」の項目に記載してあります。取付作業の前に付属品をご確認ください。

安全に正しく取り付けていただくために

■ 作業をはじめる前に

⚠警 告

●本機はDC12V車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しない…

火災や故障などの原因となります。

●取り付け作業前には、バッテリーのマイナス側ケーブルを外す…

プラス⊕とマイナス⊖経路のショート事故による感電やけがの原因となります。

⚠注 意

●本機の取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…

誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

●エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行う…

エアバッグが誤動作する原因となることがあります。

■ 取付場所について

⚠警 告

●本機を次のような場所に取り付けない…
- 前方の視界を妨げる場所
- ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所
- 同乗者に危険を及ぼす場所

交通事故やけがの原因となります。

●エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしない…

エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。

⚠注 意

●雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへは取り付けない…

本機に水や湿気、ほこり等が混入すると発煙や発火、故障の原因となることがあります。

●振動の多いところなど、確実に固定できないところには取り付けない…

本機が外れて、事故やケガの原因となることがあります。

●直射日光やヒーターの熱風などが直接当たるところや、本機の通風穴や放熱部をふさぐところには取り付けない…

本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

■ 取付上のご注意

⚠警 告

●車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意する。また、加工部のサビ止めや浸水防止を施す…

火災や感電の原因となります。

●車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない…

これらを使用しますと制動不能や発火、事故の原因となります。

⚠注 意

●必ず付属の部品を指定通りに使用する…

指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。

●車体に穴を開けてコード類を配線するときは、絶縁性グロメットを使用する…

開口部とコード類との接触により、すり切れてショートし、事故や火災の原因となることがあります。

■ 結線上のご注意

⚠警 告

●本機の電源端子をバッテリーに直接接続する場合は、指定容量以上の電源コードを使用する…

指定容量に満たないコードを使用すると、電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となることがあります。

●接続コード類の配線は高熱部を避けて行う…

コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。特にエンジンルーム内の配線には注意してください。

●コード類は、運転操作の妨げとならないようにテープなどでまとめておく…

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

●電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしない…

電源コードの電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となります。

⚠警 告

●接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープなどで絶縁する…

ショートにより火災·感電の原因となります。

⚠注 意

●取付説明書で指定された通りに接続する…

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

●コード類の結線終了後は、コード類をクランプや絶縁テープで確実に固定する…

コード類が車体部分との接触により、すりきれてショートして、事故や火災の原因となることがあります。

●車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線する…

断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

■ 作業が終わったら

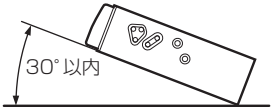
⚠警 告

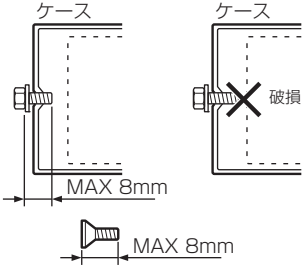
●取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーンなどの電装品が元通り、正常に動作することを確かめる…

正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。

取付上のお願い

- 本機は、水平面から 30° 以内で取り付けてください。
- 日産車への取り付けは、一部の車種を除き別売の取付キットが用意されています。またトヨタ車への取り付けは、一部の車種を除き、車両の取付金具を使用して取り付けることができます。
- 車種や年式により、専用の取付キットや市販のネジ (M5x8mm サラネジ) が必要となる場合もあります。販売店にご相談ください。



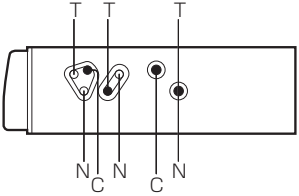


⚠警 告

- 取り付けには、必ず付属のネジを正しくご使用ください。指定以外のネジを使用すると、事故や故障の原因となります。

取付穴について

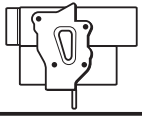
- 本機には、日産車（N）、トヨタ車（T）、当社車種別キット用（C）の取付穴が設けられています。
- 当社の取付キット（別売）を使用する場合は、車種によって多少異なりますが、●印穴のいずれかを使用して取り付けます。



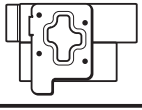
＜取付ブラケットの例＞

- 印はネジ止め箇所です

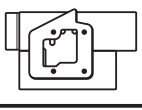
例1



例2



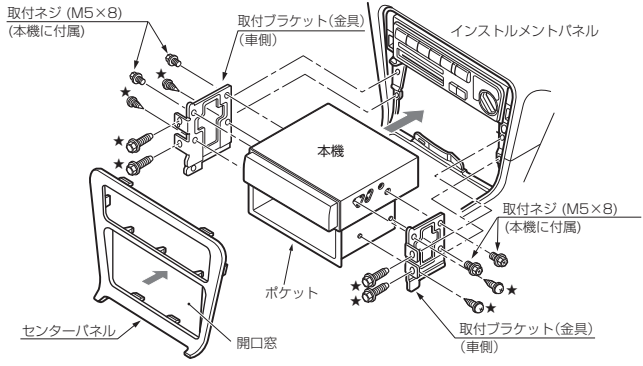
例3



取付例

・ここでは、車両取付金具にそのまま、取り付けする時の取付例を紹介します。

車側　取付金具使用例



(★印のネジは車側のネジです。)

結線のしかた

⚠ 警 告

●配線作業中は、バッテリーのマイナス側のケーブルを外してください。
ショート事故による感電やケガの原因となります。また、ショート事故による機器内部の部品を破損する原因となります。



●メイン電源コードを接続する車側電源端子が、15A以上の電流容量であることをお確かめください。15A未満のときは、15A以上の容量を持つ電源コードを使用して、バッテリーに直接接続してください。

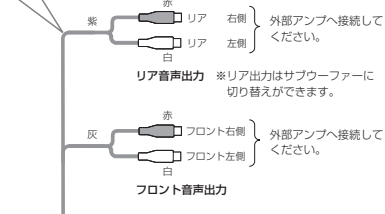
●バッテリーに直接接続する場合は、別売のメイン電源延長コード(CCA-564-510)を使用してください。

RCAケーブル
RCAケーブルは、接続先を確認してから接続してください。
RCAケーブルは、接続部がはずれないように、絶縁テープなどで固定してください。

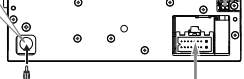
⚠注 意
・接続しないRCAケーブルの絶縁キャップは、ショート防止のため、はずさないでください。



外部アンプ接続時のご注意
本機に外部アンプを接続してシステムアップする場合には、外部アンプのアースコードは確実に自動車の金属部分に接続してください。接続が不充分ですと雑音の原因となるばかりか、接続する外部アンプによっては本機の内部回路を破損する場合があります。



アンテナ入力
本機のアンテナ入力端子は、メインアンテナ入力のみです。車側がダイバーシティアンテナの場合は、メインアンテナのみを接続してください。
※車側の端子と合わない場合は、別売のアンテナ変換コードを使用してください。詳しくは、販売店にご相談ください。



アンテナ入力
車側のアンテナ端子を接続します。

⚠注 意
・ショート事故防止のため、電源コネクターを接続する前に、結線内容を再度確認してください。



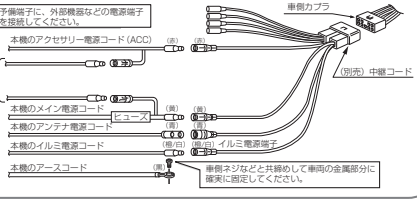
次ページ参照

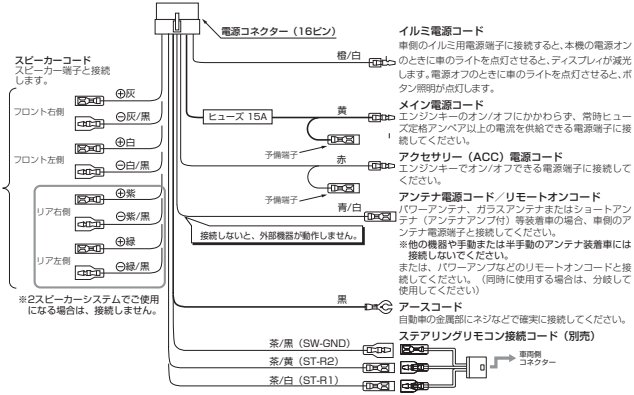
電源コード

車種別の専用取付キット(中継コードキット、別売)を、ご使用ください。また、適合車種については販売店にご相談ください。

⚠注 意

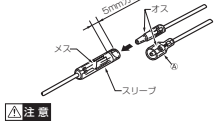
- 接続しない端子は、金属部に触れないように、端子を絶縁テープなどで覆ってください。





電源(予備端子・アンテナ電源/リモートオン・ステアリングリモコンコード)およびスピーカ端子

端子の接続は、オスとメスがロックするまで差し込んでください。
オス端子が下図Aタイプの場合は、メス端子のスリーブを約5mmカットしてください。



⚠注 意

- 接続しない端子は、金属部に触れないように、端子を絶縁テープなどで覆ってください。

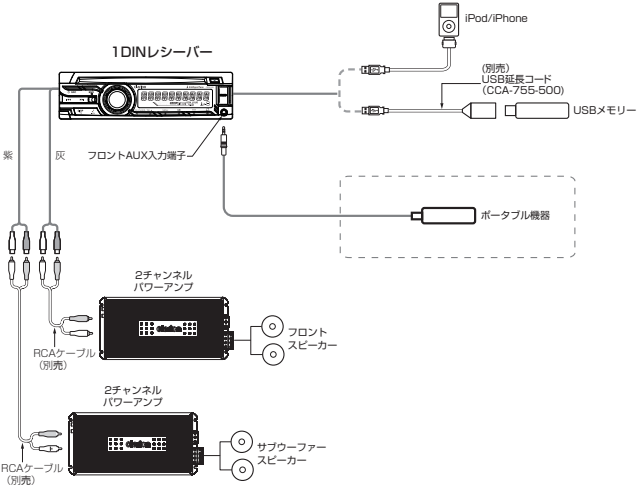
ヒューズ

ヒューズが切れたときは、ショート事故防止のため次の手順で、入っていたものと同じ容量のヒューズと交換してください。

⚠警 告

- ヒューズを交換するときは、同じ容量のヒューズを入れてください。
  入れ間違えると故障の原因となりますので、アンペア数をよくお確かめのうえ、交換してください。

■システム例


iPod/iPhone
1DINレシーバー
(別売)
USB延長コード
(CCA-755-500)
USBメモリー
紫
灰
フロントAUX入力端子
ポータブル機器
2チャンネル
パワーアンプ
RCAケーブル
(別売)
フロント
スピーカー
2チャンネル
パワーアンプ
サブウーファー
スピーカー
RCAケーブル
(別売)

クラリオン株式会社

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2
Clarion ホームページ
http://www.clarion.com

製品についての「よくあるご質問」は以下サイトで閲覧できます。
http://www.clarion.com/jp/ja/user-support/faq/

お問い合わせは、クラリオン**「お客様相談室」**へ
フリーダイヤル 0120-112-140
受付時間：9:30～12:00、13:00～17:00
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

保証書で以下内容をご確認頂くと、スムーズな応対ができます。
お買い上げ日、販売店名、製品型名

PA-2436A
280-9364-00
Printed in Thailand　2015/3